

熊建労5400人の力を合わせた

# 熊本地震救援ニュース

2016年8月29日(月)

第41号

発行 村上久義教宣部長  
TEL096-283-7811

## 熊本地震発生から130日目のボランティア 第1次ボランティア活動を終了します

### 1、被害状況 (該当支部)

8/22 9:00 現在

	城北	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ		0	0	7	6	10		23
全壊		2	1	74	14	20		112
半壊	1	11	3	234	20	41	5	315
瓦・一部	16	23	6	340	40	157	13	595
地盤沈下 液状化			1 (川沿い)					1
土石流避難			4					4

#### (1) 被災地の状況

- 被害が少ない方程、手続きを何もしていない傾向にある。
- 一部損壊の一次判定から、半壊の2次判定となった方の申請が増えてきた。
- 職種を問わず、アスベスト防塵マスクの要望が増えてきた。

### 2、支援活動

#### (1) 8月28日ボランティア活動

- 23人9組に分かれて組合員訪問行動。203件を訪問し、160人と対話できました。
- 所属支部の役員が訪問すると、対象組合員の家もすぐにわかり組合員との距離が近いため、共済申請等の話がしつかりとできた。



ボランティア前の打ち合わせ

## 160人の組合員と対話し 一部損壊でも見舞金が出ることを伝える

8月28日に熊建労23人が9組に分かれてボランティア訪問を取組みました。

203件訪問し160人の組合員・家族と対話が出来ましたが、被害の少ない組合員が手続きを何もしていないなど改めて訪問対話の重要性を認識しました。

組合に手続きを訪れる組合員の中には、「分会の仲間から手続きをすれば共済から見舞金が出ることを教えてもらった」と手続きをしていく方もありますが、少なくない仲間が未手続につながっていることから、伝えていくことのむずかしさを実感しています。

# 熊本県社会福祉協議会から支援物資が届く ボランティアのつながりで『協力協同』広がる



救援物資をもらいに出かけた宣伝カー

段ボールの中身は防塵マスク（上）ヘルメット内の吸汗パッド



これまでボランティア保険の登録を行っている熊本県社会福祉協議会から全国より寄せられた支援物資の一部が、「支援物資のなかに熊建労の皆さんに使っていただけそうな物があるので、持って行きませんか？」という話があり、防塵マスクと作業用手袋を車に乗るだけいただきました。後日、「在庫の物資もどうですか？」と話が有り、宣伝カーに、防塵マスク・防塵ゴーグル・吸汗パッドをいただいできました。

熊本県社会福祉協議会へボランティア保険の登録は、総勢360人。また、熊本社協からの依頼で行ったブルーシートの交換作業と、今まで接点のなかった新しいつながりを作り、協力協同を作り出してきたことがこういう形となって表れてきました。

## 熊建労 第1次ボランティア活動は終了

これまで多くの全国の仲間から救援物資やボランティア活動に参加していただきありがとうございました。

9月は、熊建労本部臨時大会や翌週からの支部大会を予定しており、ボランティア活動は一時お休みいたします。

今後の活動予定は、本部執行委員会で確認していきます。

熊本地震の復旧復興はこれからも続きます。全国の仲間の皆さん、これまでの支援本当にありがとうございました。熊建労組合員・家族一同『明日は我が身』を胸に刻み、これからの復旧復興に携わっていきたいと思います。これまでの支援に感謝するとともに、これからの支援も引き続きお願いします。